

神高トピックス

平成28年7月発行
114号
発行 トピックス事務局



校長室より

本校は、昭和36年から始まった鹿島開発が一応の完成を見せ、13社による石油化学コンビナート合同完工式が行われ、鹿島火力発電所の1号機が運転を開始した昭和46年に創立いたしました。以来、多数の有為な人材を世に輩出し、今日まで46年の歴史を刻み続けております。「至誠、勤勉、協和」を校訓として、創立当初から地域の温かいご支援を頂きながら発展してきた歴史と伝統ある学校であります。

さて、本校の目指す学校像は「ひとりひとりが意欲を持ち、輝きに満ちた学校」「社会に貢献できる有為な人材の育成」であります。この実現のために、基礎学力の向上、基本的生活習慣の確立、進路希望の実現など様々な教育活動を展開するなかで生徒の自己実現を図れる学校づくりを推進いたしております。

学習指導では、基礎学力を養成する学校設定科目の設定、チームティーチングや少人数編成授業を行っております。また、教員各々が日々の授業を大切に、創意工夫した「わかる授業」を展開し、生徒の学習意欲の向上に繋げてまいります。

生活指導では、社会人として必要なルールやマナーが身に付くように、きめ細かく指導しております。生徒会・運動部員による地元小学校に出向いての「あいさつ運動」や、昨年度文部科学省で実践事例発表した家庭クラブによる「SNSトラブル防止のための出前講座」は生活指導の大きな成果であると考えております。

進路指導では、1学年での「ふれあい交流体験学習」、16年連続となる2学年での「インターンシップ」を通して望ましい勤労観や職業観を育成するとともに、3学年での早期の進路選択を指導しております。また、生徒一人ひとりの進路希望の実現に向けて、基礎学力の定着やコミュニケーション能力の育成、大学進学に対応できる学力養成を目的とした特別活動としての「特進部」創設や進学合宿など、きめの細かい進路指導体制が整っております。昨年度も進学・就職ともに進路決定率100%を達成いたしました。

私たち平均年齢36.8歳の若い教員集団は、生徒一人ひとりが本校で学ぶことによって、自分の良さを見つけ、自信を持ち、主体的に考え、たくましく生きる力を身に付けてほしいと願い、自らも社会貢献する形での自己実現を目指しております。工都・神栖に相応しく、学校の教育活動を工場に例えるならば、将来への展望を持つ経営者、精密機械に精通した技師、修理や再生を得意とする職人たちが、製品一つひとつを手塩に掛けて作るようなものだと考えます。私たちはそういった質の高い製品を世に送り出す優良企業のように、質の高い生徒を世に送り出したいと日々精進を重ねております。私たち教職員一人ひとりが信念を持つ経営者、優れた技師、熟練の職人のように、「神高クオリティ」を高め、「地域No.1神高ブランド」の推進に全力で取り組む所存であります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第18代校長 野口 正男

第46回入学式 (4月7日)

160名が入学しました。
おめでとうございます！



運動部壮行会 (5月6日)



各運動部がステージに上がり、これから始まるインターハイ予選に向けての目標・思いを発表しました。そして、吹奏楽部・野球部が協力し、運動部にエールを送りました。

クラスマッチ (6月10日)

長縄跳び・背渡り走・ドッチボール・バドミントン・バレーボールの五つの種目で競いました。優勝は2年A組、準優勝は3年B組、3位は1年C組でした。

各クラスでポスターを作成し、運動の苦手な生徒も活躍しました。最優秀賞は3年D組の作品でした。



授業参観/PTA・後援会総会 (5月14日)

午前中の授業参観では、普段は見られない生徒達の姿を保護者の皆様にご覧いただきました。午後からは、茶道部によるお茶会、吹奏楽部による演奏会が体育館で行われました。

PTA並びに後援会の皆様、ご協力ありがとうございました。

